

# 大雪に伴う被害拡大防止対策について

気象災害対策  
令和2年12月17日  
中央普及支援センター

## 1 高波と大雪及び雷に関する石川県気象情報 第11号 から抜粋

<令和2年12月17日06時07分 金沢地方気象台発表>

北陸地方の上空約5500メートルには氷点下33度以下の強い寒気が流れ込んでおり、17日は、はじめ強い冬型の気圧配置となりますが、次第に緩む見込みです。

その後18日夜から19日にかけて再び上空に寒気が流れ込み、冬型の気圧配置が強まる見込みです。

### [雪の予想]

17日6時から18日6時までに予想される24時間降雪量は、多い所で、

加賀 平地 10センチ 山地 40センチ

能登 平地 10センチ 山地 30センチ

その後、18日6時から19日6時までに予想される24時間降雪量は、多い所で、

加賀 平地 1～5センチ 山地 20～40センチ

能登 平地 1～5センチ 山地 10～20センチ

の見込みです。

## 2 当面の管理の注意点

12月14日以降の降雪で、能登地域では被害が確認されています。今後被害を最小限に留めるため、下記の降雪後の対策に留意して下さい。

### 1 パイプハウス（水稻育苗用パイプハウス、園芸用パイプハウス）

- (1) 更なる積雪による倒壊を防ぐため、ビニールの破損等は速やかに補修するとともに、できるだけ屋根雪を滑落させ、天井に雪を乗せたままにしない。

ビニールを外したハウスでもパイプ部分に大量の雪が積もると倒壊の恐れがあるので、雪を落とすようにする。

なお、屋根雪はハウス内温度を4℃以上にするとほとんどの場合滑落するが、滑落しない場合は手作業で強制的に滑落させる。

- (2) ハウスサイドの雪がハウスの肩（桁行直管）の高さを超えない様、除雪する。除雪が間に合わない場合は、中柱を立てハウスの倒壊を防ぐ。

(3) 降雪が1 mを超えるようなドカ雪等の緊急時には、ビニールを切ってハウスの倒壊を防止する。

ビニールを切るためにハウスに入る場合は下敷きにならないよう細心の注意をして作業を行うとともに、ビニール切断時は左右対称に行っていく。

(園芸施設共済に加入している場合は、切断前に農業共済組合に確認する)。

(4) 日差しにより急激に温度が上昇するため、ハウスサイドの換気ができるよう、ハウス側面を早急に除雪する。

(5) 雪解け水がハウス内で停滞しないよう排水溝を確保し、速やかな排水を促す。

## 2 麦類

### (1) 排水溝の点検

融雪後、圃場巡回を実施し、地表面の排水が速やかに行われているか排水溝の点検を行い、必要があれば排水溝の手直しや追加を行う。

## 3 野菜・花き

### (1) 施設の野菜・花き

- ① 収穫期を迎えている品目（こまつな、ハボタン等）については、被害にあったものを除き、速やかに収穫・出荷する。
- ② 生育初期で被害にあった場合（こまつな等）は、ビニールハウスの補修を行った上で、播き直す。
- ③ 過湿による病害発生を防ぐため、積極的に換気し湿度の低下に努める。

### (2) 露地の野菜・花き

できるだけ早期に融雪するため、くん炭等の融雪資材を散布するとともに、雪解け水が停滞しないよう排水溝を確保し、速やかな排水を促す。

## 4 果樹

### (1) 樹体被害

- ① 冠雪が50 cmを越えると枝折れや枝裂け等の被害が出やすいので、降雪量を見ながら着雪の払い落としを行う。
- ② 枝の皮部が1/2～1/3が完全に繋がっていれば、速やかに回復措置を実施する。
- ③ 主枝裂開部はナイフで削り取りボルト締め、あるいはカスガイ打ちし、傷口に水が入らないよう接合部に殺菌塗布剤を塗布して癒合を図る。癒合するまでは支柱などで、支持補強する。
- ④ 枝の欠損部は傷口を平らに削った後、殺菌塗布剤を塗って枯れ込みを

防ぐ。

- ⑤ 裂開した枝では、側枝や結果枝の数を減らして着果負担を軽くする。

## (2) 果樹棚等の施設

- ① ドカ雪の場合はナシ、ブドウ等は棚上の積雪状況に注意し、必要に応じて早急に雪降ろしを実施する。
- ② 激しい降雪により果樹棚が完全に埋没して倒壊の恐れがある場合は、周囲線を掘り起こし、周囲柱の外側の積雪を踏み込む。さらに、幹線、または小張線を切断し、枝を雪面上に引き上げることによって果樹棚の倒壊を防ぐ。

## 5 畜産・飼料作物

- ① 畜舎等の施設点検を行い、老朽化等により倒壊の恐れがある場合は必要に応じて補強等を行うとともに、屋根の雪下ろしを適切に実施すること。
- ② 畜舎の周囲等農場内の除雪を適切に行う。特に、肉牛、肉豚、生乳、鶏卵等の家畜・畜産物の集出荷および飼料等の運搬車車両の通路を確保するため、可能な限り農場内の道路の除雪に努めること。
- ③ 子畜や老畜・病畜については観察の強化に努め、体温維持のため飼料の増給や保温対策を行う。
- ④ イタリアンライグラスは、雪害・雪腐病の被害が出やすいので、可能な限り停滞水の早期排水に努める。

なお、雪害対策マニュアル（平成30年11月発行(令和2年2月改定)、<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/noken/kisyousaigai/documents/020201.pdf>)も参考にして下さい。

## 高波と大雪及び雷に関する石川県気象情報 第11号

令和2年12月17日06時07分 金沢地方気象台発表

(見出し)

石川県では17日昼前にかけてうねりを伴った高波に警戒し、加賀南部の山地では大雪による交通障害に注意してください。また、17日昼前まで落雷や竜巻などの激しい突風に注意してください。

(本文)

[要因]

北陸地方の上空約5500メートルには氷点下33度以下の強い寒気が流れ込んでおり、17日は、はじめ強い冬型の気圧配置となりますが、次第に緩む見込みです。

このため、石川県では17日昼前にかけて大気の状態が非常に不安定となるでしょう。

その後18日夜から19日にかけて再び上空に寒気が流れ込み、冬型の気圧配置が強まる見込みです。

[雪の実況]

17日5時現在の24時間降雪量と積雪の深さ(アメダスによる速報値)は、

	24時間降雪量	積雪の深さ
白山市河内	14センチ	22センチ
加賀市菅谷	14センチ	15センチ
七尾	8センチ	20センチ
珠洲	7センチ	36センチ

などとなっています。

[雪の予想]

17日6時から18日6時までに予想される24時間降雪量は、多い所で、

加賀 平地	10センチ
山地	40センチ
能登 平地	10センチ
山地	30センチ

その後、18日6時から19日6時までに予想される24時間降雪量は、多い所で、

加賀 平地	1から5センチ
山地	20から40センチ
能登 平地	1から5センチ
山地	10から20センチ

の見込みです。

[波の予想]

17日に予想される波の高さは、うねりを伴い、

加賀	5メートル
能登	5メートル

の見込みです。

[風の予想]

17日に予想される最大風速(最大瞬間風速)は、

加賀	陸上	12メートル(25メートル)
	海上	15メートル(25メートル)
能登	陸上	12メートル(25メートル)
	海上	15メートル(25メートル)

の見込みです。

#### [防災事項]

石川県では、17日昼前にかけてうねりを伴った高波に警戒し、17日昼前にかけて、加賀南部の山地では大雪による交通障害に注意してください。17日にかけて風雪による視程障害、強風、電線や樹木への着雪に注意してください。

また、17日昼前にかけて落雷や竜巻などの激しい突風のおそれもあります。屋外活動等に十分注意し、発達した積乱雲の近づく兆しがある場合には、建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。ひょうの降るおそれがありますので、農業施設の管理にも注意してください。

#### [特記事項]

今後発表する警報、注意報、竜巻注意情報、気象情報等に留意してください。

#### [情報の発表予定]

これで「高波と大雪及び雷に関する石川県気象情報」は終了します。